

(3) 乳児死亡及び新生児死亡

乳児死亡数は57人で、前年より12人減少した。乳児死亡率は出生千人に対し1.4で、前年より0.2ポイント低下した。

乳児死亡のうち新生児死亡数は、21人で前年より14人減少した。新生児死亡率は出生千人に対し0.5で、前年より0.3ポイント低下した。

全国は、乳児死亡率が前年と同率の1.8、新生児死亡率は0.9で、前年より0.1ポイント上昇した。(表-21、図-16、図-17)

表-21 乳児死亡及び新生児死亡の年次推移

			S35	40	45	50	55	60	H2	7
乳児	数	埼玉県	1 523	1 348	1 232	1 015	558	369	280	257
		全 国	49 293	33 742	25 412	19 103	11 841	7 899	5 616	5 054
	率	埼玉県	35.1	20.2	13.5	10.6	7.4	5.5	4.4	3.8
		全 国	30.7	18.5	13.1	10.0	7.5	5.5	4.6	4.3
新生児	数	埼玉県	955	931	869	673	369	228	168	124
		全 国	27 362	21 260	16 742	12 912	7 796	4 910	3 179	2 615
	率	埼玉県	22.0	14.0	9.5	7.0	4.9	3.4	2.7	1.8
		全 国	17.0	11.7	8.7	6.8	4.9	3.4	2.6	2.2

			12	17	22	27	R2	4	5	6
乳児	数	埼玉県	210	137	133	111	75	67	69	57
		全 国	3 830	2 958	2 450	1 916	1 512	1 356	1 326	1 266
	率	埼玉県	3.2	2.3	2.2	2.0	1.6	1.5	1.6	1.4
		全 国	3.2	2.8	2.3	1.9	1.8	1.8	1.8	1.8
新生児	数	埼玉県	105	61	62	48	32	27	35	21
		全 国	2 106	1 510	1 167	902	704	609	600	637
	率	埼玉県	1.6	1.0	1.0	0.9	0.7	0.6	0.8	0.5
		全 国	1.8	1.4	1.1	0.9	0.8	0.8	0.8	0.9

注：率は出生千対である。

図-16 乳児死亡率の年次推移
(埼玉県・全国)

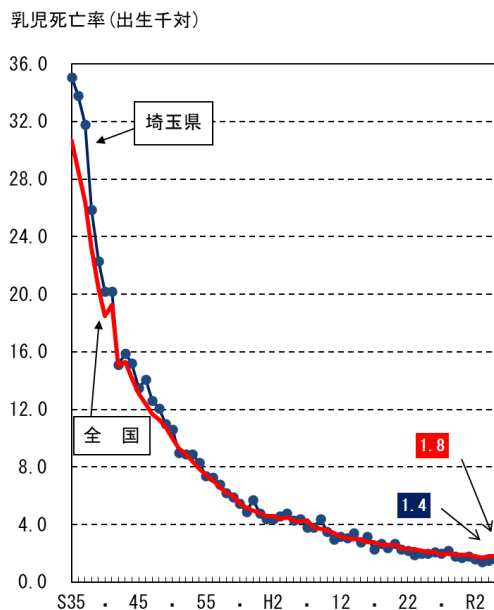
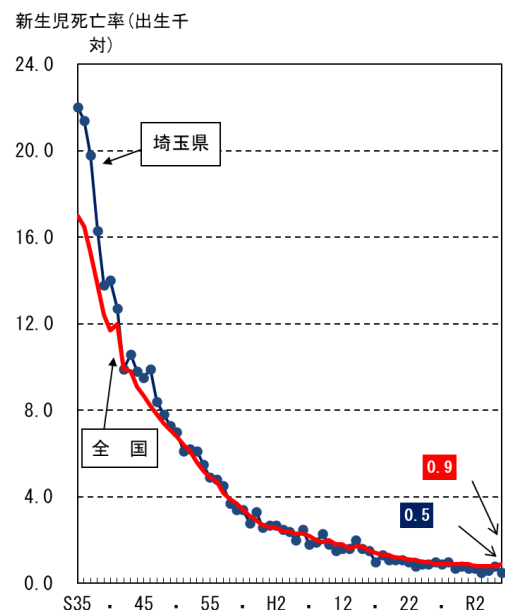


図-17 新生児死亡率の年次推移
(埼玉県・全国)



(4) 自然増減

自然増減数（出生数から死亡数を減じたもの）は、平成24年に戦後初めて自然減へと転じて以降、年々減少数が拡大している。

令和6年は△46,427人で、前年の△41,489人より4,938人拡大した。

自然増減率は人口千人に対し△6.6であった。

（表－22、図－18）＊表は5年毎に表記

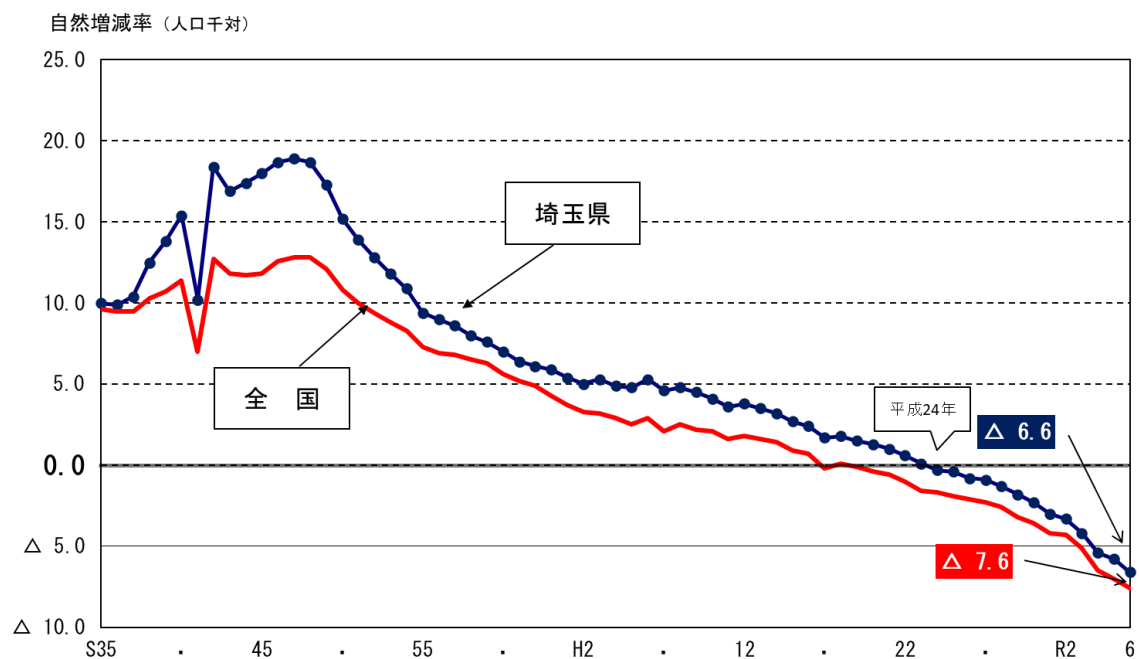
表－22 自然増減数及び自然増減率の年次推移

		S35	40	45	50	55	60	H2	7
数	埼玉県	24 332	46 468	69 277	73 345	50 961	40 843	32 077	30 951
	全 国	899 442	1 123 259	1 221 277	1 199 165	854 088	679 294	401 280	264 925
率	埼玉県	10.0	15.4	18.0	15.2	9.4	7.0	5.0	4.6
	全 国	9.6	11.4	11.8	10.8	7.3	5.6	3.3	2.1

		12	17	22	27	R2	4	5	6
数	埼玉県	25 890	11 636	3 950	△ 6 488	△ 23 430	△ 38 770	△ 41 489	△ 46 427
	全 国	228 894	△ 21 266	△ 125 709	△ 284 789	△ 531 920	△ 798 291	△ 848 728	△ 919 205
率	埼玉県	3.8	1.7	0.6	△ 0.9	△ 3.3	△ 5.4	△ 5.8	△ 6.6
	全 国	1.8	△ 0.2	△ 1.0	△ 2.3	△ 4.3	△ 6.5	△ 7.0	△ 7.6

注：率は人口千対である。

図－18 自然増減率の年次推移（埼玉県・全国）



市町村別にみると、高率順では、和光市（△0.4）、戸田市（△0.9）、朝霞市（△1.4）の順である。

また、低率順ではときがわ町（△20.9）、皆野町（△19.7）、長瀬町（△18.4）の順である。

自然増減率が、全63市町村においてマイナスとなっている。（表－23、図－19）

表－23 市町村別にみた自然増減率（高率順）

順位	市町村	自然増減率	順位	市町村	自然増減率	順位	市町村	自然増減率
1	和光市	△ 0.4	22	蓮田市	△ 6.6	43	上里町	△ 11.1
2	戸田市	△ 0.9	23	鴻巣市	△ 6.7	44	行田市	△ 11.4
3	朝霞市	△ 1.4	24	東松山市	△ 6.8	45	川島町	△ 12.0
4	八潮市	△ 3.3	25	鶴ヶ島市	△ 6.8	46	杉戸町	△ 12.2
5	さいたま市	△ 3.5	26	三芳町	△ 7.4	47	幸手市	△ 12.3
6	富士見市	△ 4.1	27	宮代町	△ 8.0	48	寄居町	△ 12.5
7	滑川町	△ 4.3	28	加須市	△ 8.1	49	毛呂山町	△ 12.7
8	吉川市	△ 4.4	29	入間市	△ 8.1	50	嵐山町	△ 12.9
9	志木市	△ 5.0	30	桶川市	△ 8.2	51	越生町	△ 13.2
10	草加市	△ 5.0	31	久喜市	△ 8.2	52	秩父市	△ 13.5
11	越谷市	△ 5.4	32	坂戸市	△ 8.6	53	横瀬町	△ 14.2
12	川口市	△ 5.4	33	飯能市	△ 8.7	54	吉見町	△ 14.5
13	蕨市	△ 5.4	34	熊谷市	△ 9.0	55	鳩山町	△ 14.6
14	伊奈町	△ 5.5	35	本庄市	△ 9.3	56	小川町	△ 16.1
15	白岡市	△ 5.7	36	春日部市	△ 9.4	57	東秩父村	△ 16.3
16	所沢市	△ 6.0	37	深谷市	△ 9.5	58	小鹿野町	△ 16.7
17	新座市	△ 6.1	38	狭山市	△ 9.7	59	神川町	△ 17.4
18	ふじみ野市	△ 6.2	39	北本市	△ 10.0	60	美里町	△ 18.3
19	三郷市	△ 6.2	40	日高市	△ 10.0	61	長瀬町	△ 18.4
20	上尾市	△ 6.4	41	羽生市	△ 10.2	62	皆野町	△ 19.7
21	川越市	△ 6.6	42	松伏町	△ 10.6	63	ときがわ町	△ 20.9

注1：率は人口千対である。

注2：順位の算出には、小数点第2位以下を考慮している。

(5) 死 産

死産数は1,005胎で、前年より50胎増加した。死産の内訳をみると、自然死産は前年より60胎増加し427胎、人工死産は前年より10胎減少し578胎であった。

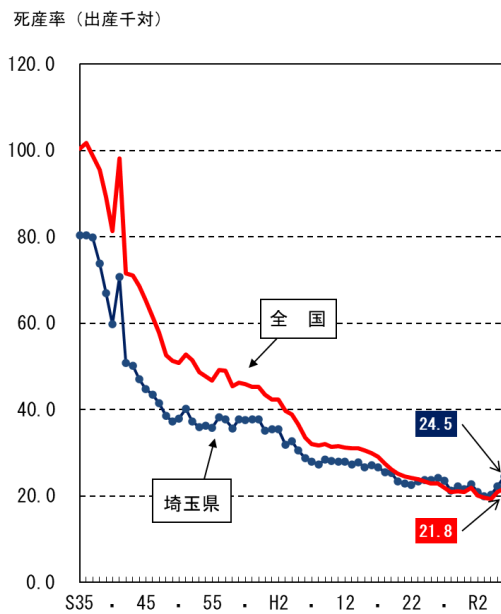
死産率は出産千人（胎）に対し24.5で、前年より2.3ポイント上昇した。全国は0.9ポイント上昇し21.8であった。（表－24、図－20、図－21）

表－24 死産数及び死産率の年次推移

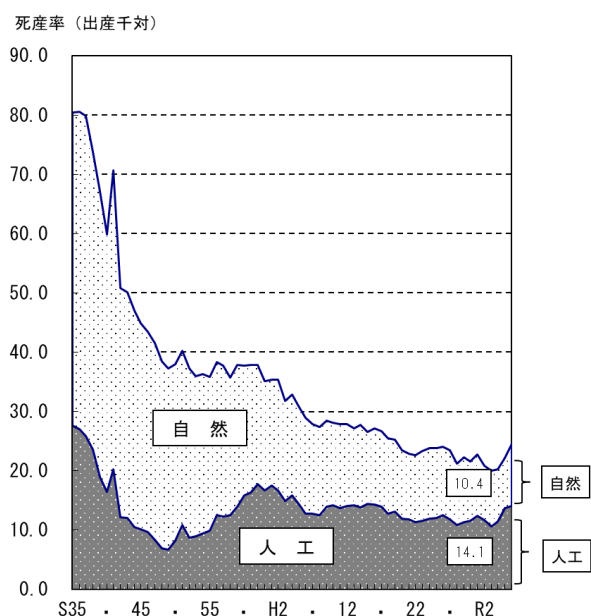
		S35	40	45	50	55	60	H2	7	12	17	22	27	R2	4	5	6
死 産 率	埼玉県	3 794	4 237	4 277	3 795	2 792	2 630	2 324	1 944	1 907	1 637	1 375	1 350	1 012	900	955	1 005
	全 国	179 281	161 617	135 095	101 862	77 446	69 009	53 892	39 403	38 393	31 818	26 560	22 621	17 278	15 179	15 534	15 323
	全 国	100.4	81.4	65.3	50.8	46.8	46.0	42.3	32.1	31.2	29.1	24.2	22.0	20.1	19.3	20.9	21.8
(自然) 数	埼玉県	2 491	3 077	3 307	2 976	2 021	1 521	1 226	1 057	941	780	690	670	447	396	367	427
	全 国	93 424	94 476	84 073	67 643	47 651	33 114	23 383	18 262	16 200	13 502	12 245	10 864	8 188	7 391	7 152	6 849
	全 国	52.8	43.4	34.7	29.8	25.9	21.8	18.7	15.2	13.8	12.7	11.3	11.7	9.2	8.9	8.5	10.4
(人工) 数	埼玉県	1 303	1 160	970	819	771	1 109	1 098	887	966	857	685	680	565	504	588	578
	全 国	85 857	67 141	51 022	34 219	29 795	35 895	30 509	21 141	22 193	18 316	14 315	11 757	9 090	7 788	8 382	8 474
	全 国	27.6	16.4	10.2	8.2	9.9	15.9	16.7	12.7	14.1	14.0	11.3	11.8	11.7	11.4	13.7	14.1
(人工) 率	埼玉県	48.1	33.8	24.7	17.1	18.0	23.9	23.9	17.2	18.1	16.7	13.0	11.4	10.6	9.9	11.3	12.1
	全 国	48.1	33.8	24.7	17.1	18.0	23.9	23.9	17.2	18.1	16.7	13.0	11.4	10.6	9.9	11.3	12.1
	全 国	48.1	33.8	24.7	17.1	18.0	23.9	23.9	17.2	18.1	16.7	13.0	11.4	10.6	9.9	11.3	12.1

注：率は出産（出生＋死産）千対である。

図－20 死産率の年次推移
（埼玉県・全国）



図－21 死産率（自然・人工）の
年次推移（埼玉県）



(6) 周産期死亡

周産期死亡数は139人（胎）で、前年より4人（胎）増加した。

周産期死亡率は出産千人（胎）に対し3.5で、前年より0.3ポイント上昇し、全国の3.3を0.2ポイント上回った。年次推移をみると、長期的には低下傾向にあったが、令和4年以降増加している。

（表－25、図－22）

なお、平成7年の上昇は、周産期死亡の定義が変わり、後期死産が「妊娠満28週以後」から「妊娠満22週以後」に改められたことに原因があるものと考えられる。

表－25 周産期死亡数及び周産期死亡率の年次推移

		S35	40	45	50	55	60	H2	7	12	17	22	27	R2	4	5	6
周産期死亡	数	埼玉県 1 892	1 956	1 889	1 546	899	555	401	476	397	281	252	208	133	124	135	139
	全 国	66 552	54 094	41 917	30 513	18 385	11 470	7 001	8 412	6 881	5 149	4 515	3 729	2 664	2 527	2 404	2 285
	率	埼玉県 43.6	29.4	20.7	16.1	12.0	8.3	6.3	7.0	6.0	4.7	4.2	3.7	2.8	2.8	3.2	3.5
	全 国	41.4	30.1	21.7	16.0	11.7	8.0	5.7	7.0	5.8	4.8	4.2	3.7	3.2	3.3	3.3	3.3
後期死産	数	埼玉県 1 287	1 306	1 213	1 014	603	380	275	385	319	242	205	175	107	102	104	124
	全 国	49 512	39 955	29 107	20 268	12 231	7 733	4 664	6 580	5 362	4 058	3 637	3 064	2 112	2 061	1 943	1 800
	率	埼玉県 29.6	19.6	13.3	10.6	8.0	5.6	4.3	5.7	4.8	4.0	3.4	3.1	2.3	2.3	2.5	3.1
	全 国	30.8	21.9	15.0	10.7	7.8	5.4	3.8	5.5	4.5	3.8	3.4	3.0	2.5	2.7	2.7	2.6
早期新生児死亡	数	埼玉県 605	650	676	532	296	175	126	91	78	39	47	33	26	22	31	15
	全 国	17 040	14 949	12 810	10 245	6 154	3 737	2 337	1 832	1 519	1 091	878	665	552	466	461	485
	率	埼玉県 13.9	9.8	7.4	5.5	3.9	2.6	2.0	1.3	1.2	0.7	0.8	0.6	0.5	0.5	0.7	0.4
	全 国	10.6	8.2	6.6	5.4	3.9	2.6	1.9	1.5	1.3	1.0	0.8	0.7	0.7	0.6	0.6	0.7

注1：周産期死亡率・後期死産率は出産（出生＋後期死産）千対である。

注2：早期新生児死亡率は出生千対である。

注3：後期死産とは、妊娠満22週以後の死産である。

図－22 周産期死亡率の年次推移（埼玉県・全国）

